



臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。ご協力に関しては自由意志によるものとし、強制力はありません。なお、個人情報 は 厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に係る資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1

電話：03-3541-5151

担当者の所属・氏名：救急部・救命救急センター 宮本 颯真

【研究責任者】

聖路加国際病院 救急部・救命救急センター 宮本 颯真

院外心停止で当院を含む医療機関に搬送され心肺蘇生を行った方を
対象とした復温速度に関する研究

1.研究の対象

2013年1月1日～2018年12月31日に病院外で心停止となり、医療機関において経皮的人工心肺装置（心臓・肺の機能が低下した方に太い血管にカテーテルを挿入して用いる生命維持装置）による蘇生行為が行われた18歳以上の方で、SAVE-J II study（2018年度に実施された、経皮的人工心肺装置を用いた蘇生行為に関する研究；当院整理番号18-R188）に登録された方

2.研究の目的・方法

心停止で経皮的人工心肺による蘇生処置が行われた患者さんの登録データ（SAVE-J II study）を利用し、対外循環式心配蘇生法（ECPR）を導入後に低体温での体温管理療法が行われた方の症例の復温速度が神経学的予後や生存退院などの転帰に関与するのかを検討することを目的としています。

この調査では通常の保険診療以外の医療行為はなく、診療情報として登録されている内容についての調査のみとなります。

調査期間は研究機関の長の実施許可後～2023年3月31日までの予定です。

3.研究に用いる試料・情報の種類

主なデータ項目は以下となります。

診療情報：診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査）、病院前情報、来院時情報、治療時情報、補助循環、搬送等時間情報、体温管理、集中治療室入室後経過、転帰 等

4.研究組織

<共同研究機関>

筑波記念病院 救急科；阿部 智一，入山 大希，小森 大輝